

もう一つのリビング

ネットでリビングを検索していましたが、下記のサイトを見つけました。

無印良品の家：第3期第1回「リビングについて」のアンケート調査 | で、リビングをどのように使っているかのアンケートをし、その結果、リビングは多目的化し、思いのほかたくさんの方がリビングで行われている様子が見て取れるとのこと。そこでは家族の団らんを楽しんだり、ゆっくりくつろぎたいと思いながら雑然とした空間での過ごし方、使い方が分析され、そのグラフなどが掲載されています。

[第3期第1回「リビングについて」のアンケート調査 | 無印良品の家](#)



その結果からリビングのもう一つのあり方として、

前回も書きましたが、現在の家族制度から生まれた住まいは、部屋別にXN+LDK(+水回り)と数式風に表しています。この式は、現代の住まいの型式をシンプルに言い表していて、多くの人に理解されています。しかし、この式にとらわれ過ぎていませんか？

その上、リビングのスタイルは、家の延べ面積に対してリビングの占める割合を出来るだけ大きくゆったりとしたスペースにし、そこに大きなTVやソファを配置した風景が一般的です。

しかしリビングを単純に憩いや団欒の場にするだけではなく、ライフサイクルやスタイルに従ってそこに家族コーナーなどを設置するというのはどうでしょう。趣味や専門性を主としたスペースをつくり、憩いは団欒の中にあればよいというオープンな「もう一つの」リビングのあり方です。

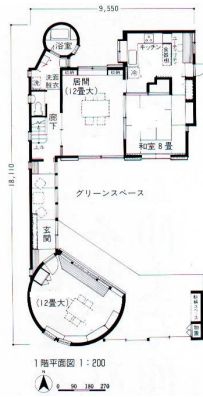
そこを書斎、趣味専用、客室、家事ミシン室、図書室、オーディオ・シアター室、温室・植物室、スタジオ・楽器部屋、ジム・ストレッチ、応接室、コレクション室、ペット専用室など、家族や個人的趣味を満足させる多目的な専用の場所として考えるのもよいのではないのでしょうか。

TVにソファスタイルのスタティックなリビングではなく、自分や家族が積極的に楽しみながら活動する場所としたほうがスペースが活きてきます。

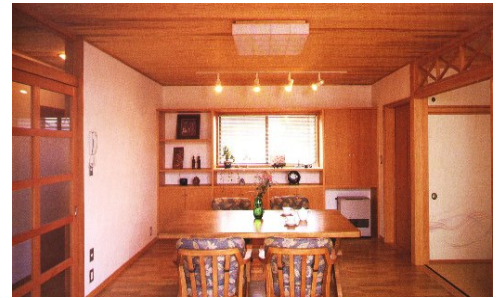
もちろんスペースに余裕があれば第一リビングは接客を兼ねたソファ(畳)のあるスペースとし、更にもう一つ第二リビングをつくるのが出来れば最高です。



マルマルの家 もう一つのリビング



マルマルの家 主リビング



図書コーナーのある半円形のスペース



※シアター&リスニングルーム



全面リフォームの家 リビングとアトリエ



全面リフォームの家 リビング・ダイニング